



# **SnapCenter Plug-in for SAP HANA**

## **Databaseのインストール**

### **SnapCenter software**

NetApp  
November 06, 2025

This PDF was generated from [https://docs.netapp.com/ja-jp/snapcenter-61/protect-hana/task\\_add\\_hosts\\_and\\_install\\_plug\\_in\\_packages\\_on\\_remote\\_hosts\\_sap\\_hana.html](https://docs.netapp.com/ja-jp/snapcenter-61/protect-hana/task_add_hosts_and_install_plug_in_packages_on_remote_hosts_sap_hana.html) on November 06, 2025. Always check [docs.netapp.com](https://docs.netapp.com) for the latest.

# 目次

SnapCenter Plug-in for SAP HANA Databaseのインストール .....	1
ホストの追加とリモート ホストへのプラグイン パッケージのインストール .....	1
コマンドレットを使用した複数のリモート ホストへのSnapCenter Plug-ins Package for Linux / Windowsのインストール .....	4
コマンドライン インターフェイスを使用したLinuxホストへのSnapCenter Plug-in for SAP HANA Databaseのインストール .....	5
Plug-in for SAP HANAのインストール ステータスの監視 .....	6

# SnapCenter Plug-in for SAP HANA Databaseのインストール

## ホストの追加とリモート ホストへのプラグイン パッケージのインストール

SnapCenterの[Add Host]ページを使用してホストを追加し、プラグイン パッケージをインストールする必要があります。プラグインは、自動的にリモート ホストにインストールされます。ホストの追加とプラグイン パッケージのインストールは、ホストごとまたはクラスタごとに実行できます。

開始する前に

- SnapCenter Serverホストのオペレーティング システムがWindows 2019で、プラグイン ホストのオペレーティング システムがWindows 2022の場合は、次の手順を実行する必要があります。
  - Windows Server 2019 (OSビルド17763.5936) 以降にアップグレードする
  - Windows Server 2022 (OSビルド20348.2402) 以降にアップグレードする
- この処理は、SnapCenter Adminロールなど、プラグインのインストールとアンインストールの権限のあるロールが割り当てられているユーザが実行する必要があります。
- Windowsホストにプラグインをインストールする際、組み込みでないクレデンシャルを指定する場合や、ユーザがローカル ワークグループに属している場合は、ホストのUACを無効にする必要があります。
- メッセージ キュー サービスが実行中であることを確認する必要があります。
- ホストの管理については、管理に関するドキュメントを参照してください。
- グループ管理サービス アカウント (gMSA) を使用する場合は、管理者権限でgMSAを設定する必要があります。

["Windows Server 2016 以降で SAP HANA 用のグループ管理サービス アカウントを構成する"](#)

タスク概要

- SnapCenter Serverをプラグイン ホストとして別のSnapCenter Serverに追加することはできません。
- SAP HANA システムレプリケーションがプライマリシステムとセカンダリシステムの両方のリソースを検出するには、root または sudo ユーザーを使用してプライマリシステムとセカンダリシステムの両方を追加することをお勧めします。

手順

1. 左側のナビゲーション ペインで、[ホスト] をクリックします。
2. 上部の\*管理対象ホスト\*タブが選択されていることを確認します。
3. \*[追加]\*をクリックします。
4. [Hosts]ページで、次の操作を実行します。

フィールド	操作
ホストタイプ	<p>ホストのタイプを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows</li> <li>Linux</li> </ul> <p></p> <p>Plug-in for SAP HANA は、HDBSQLクライアント ホス トにインストールされます。こ のホストは、Windowsシステム でもLinuxシステムでもかまいま せん。</p>
ホスト名	<p>通信ホスト名を入力します。ホストの完全修飾ドメ イン名 (FQDN) またはIPアドレスを入力しま す。SnapCenterが機能するためには、DNSが適切 に設定されている必要があります。そのた め、FQDNを入力することを推奨します。</p> <p>HDBSQLクライアントとHDBUserStoreをこのホス ト上に設定する必要があります。</p>
Credentials	<p>作成したクレデンシャルの名前を選択するか、新し いクレデンシャルを作成します。このクレデンシャル には、リモート ホストに対する管理者権限が必 要です。詳細については、クレデンシャルの作成に 関する情報を参照してください。</p> <p>指定したクレデンシャルの名前にカーソルを合わせ ると、クレデンシャルの詳細を確認できます。</p> <p></p> <p>クレデンシャルの認証モード は、[Add Host] ウィザードで指定す るホスト タイプによって決まりま す。</p>

- [Select Plug-ins to Install]セクションで、インストールするプラグインを選択します。
- (オプション) [その他のオプション] をクリックします。

フィールド	操作
ポート	<p>デフォルトのポート番号をそのまま使用するか、ポート番号を指定します。デフォルトのポート番号は8145です。SnapCenter Serverがカスタム ポートにインストールされている場合は、そのポート番号がデフォルト ポートとして表示されます。</p> <p> プラグインを手動でインストールしてカスタム ポートを指定した場合は、同じポートを指定する必要があります。そうしないと、処理が失敗します。</p>
Installation Path	<p>Plug-in for SAP HANAは、HDBSQLクライアント ホストにインストールされます。このホストは、WindowsシステムでもLinuxシステムでもかまいません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Windows 用のSnapCenterプラグイン パッケージの場合、デフォルトのパスは C:\Program Files\ NetApp\ SnapCenterです。必要に応じて、パスをカスタマイズできます。</li> <li>Linux 用のSnapCenterプラグイン パッケージの場合、デフォルトのパスは /opt/ NetApp/snapcenter です。必要に応じて、パスをカスタマイズできます。</li> </ul>
Skip preinstall checks	<p>プラグインを手動でインストール済みで、プラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、このチェック ボックスをオンにします。</p>
Use group Managed Service Account (gMSA) to run the plug-in services	<p>Windowsホストで、グループ管理サービス アカウント (gMSA) を使用してプラグイン サービスを実行する場合は、このチェック ボックスをオンにします。</p> <p> gMSA名 をdomainName\accountName\$の形式で指定します。</p> <p> gMSAは、SnapCenter Plug-in for Windowsサービスのログオン サービス アカウントとしてのみ使用されます。</p>

7. \*送信\*をクリックします。

[Skip prechecks] チェック ボックスを選択していない場合、プラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証するためにホストが検証されます。ディスク スペース、RAM、PowerShellのバージョン、.NETのバージョン、場所（Windows プラグインの場合）、Javaのバージョン（Linux プラグインの場合）が最小要件に照らして検証されます。最小要件を満たしていない場合、対応するエラーまたは警告メッセージが表示されます。

エラーがディスク スペースまたはRAMに関連している場合は、C:\Program Files\NetApp\SnapCenter WebAppにあるweb.configファイルを更新してデフォルト値を変更できます。エラーが他のパラメータに関連している場合は、問題を修正する必要があります。



HAのセットアップでweb.configファイルを更新する場合は、両方のノードでファイルを更新する必要があります。

8. ホスト タイプが Linux の場合は、フィンガープリントを確認し、[確認して送信] をクリックします。

クラスタ セットアップでは、クラスタ内の各ノードのフィンガープリントを検証する必要があります。



前述の手順で同じホストがSnapCenterに追加され、フィンガープリントが確認された場合でも、フィンガープリントの検証は必須です。

9. インストールの進捗状況を監視します。

インストール固有のログ ファイルは、/custom\_location/snapcenter/logsにあります。

## コマンドレットを使用した複数のリモート ホストへのSnapCenter Plug-ins Package for Linux / Windowsのインストール

Install-SmHostPackage PowerShell コマンドレットを使用すると、複数のホストにSnapCenter Plug-ins Package for Linux / Windowsを同時にインストールできます。

開始する前に

プラグイン パッケージをインストールする各ホストに対するローカル管理者権限を持つドメイン ユーザとして、SnapCenterにログインしておく必要があります。

手順

1. PowerShellを起動します。
2. SnapCenter Serverホストで、Open-SmConnectionコマンドレットを使用してセッションを確立し、クレデンシャルを入力します。
3. Install-SmHostPackageコマンドレットと必要なパラメータを使用して、複数のホストにプラグインをインストールします。

コマンドレットで使用できるパラメータとその説明に関する情報は、*Get-Help command\_name* を実行すると取得できます。あるいは、"SnapCenter ソフトウェア コマンドレット リファレンス ガイド"。

プラグインを手動でインストール済みで、プラグインをインストールするための要件をホストが満たしているかどうかを検証しない場合は、-skipcheckオプションを使用できます。

- リモートインストールのクレデンシャルを入力します。

## コマンドラインインターフェイスを使用したLinuxホストへのSnapCenter Plug-in for SAP HANA Databaseのインストール

SnapCenter Plug-in for SAP HANA Databaseは、SnapCenterユーザインターフェイス (UI) を使用してインストールする必要があります。SnapCenter UIからのプラグインのリモートインストールが許可されていない環境では、コマンドラインインターフェイス (CLI) を使用して、コンソールモードまたはサイレントモードでPlug-in for SAP HANA Databaseをインストールできます。

開始する前に

- Plug-in for SAP HANA Databaseは、HDBSQLクライアントがあるLinuxホストごとにインストールする必要があります。
- SnapCenter Plug-in for SAP HANA DatabaseをインストールするLinuxホストは、依存するソフトウェア、データベース、オペレーティングシステムの要件を満たしている必要があります。

サポートされる構成に関する最新の情報については、Interoperability Matrix Tool (IMT) を参照してください。

<https://imt.netapp.com/matrix/imt.jsp?components=121029;&solution=1259&isHWU&src=IMT>

- SnapCenter Plug-in for SAP HANA Databaseは、SnapCenter Plug-ins Package for Linuxに含まれています。SnapCenter Plug-ins Package for Linuxをインストールする前に、SnapCenterをWindowsホストにインストールしておく必要があります。

手順

- SnapCenter Plug-ins Package for Linuxのインストールファイル (snapcenter\_linux\_host\_plugin.bin) をC:\ProgramData\NetApp\SnapCenter\Package RepositoryからPlug-in for SAP HANA Databaseをインストールするホストにコピーします。

このパスには、SnapCenter Serverがインストールされているホストからアクセスできます。

- コマンドプロンプトから、インストールファイルをコピーしたディレクトリに移動します。
- プラグインをインストールします。

```
path_to_installation_bin_file/snapcenter_linux_host_plugin.bin -i silent  
-DPORT=port_number_for_host -DSERVER_IP=server_name_or_ip_address  
-DSERVER_HTTPS_PORT=port_number_for_server
```

- DPORTはSMCore HTTPS通信ポートを指定します。
- DSERVER\_IPは、SnapCenter ServerのIPアドレスを指定します。
- DSERVER\_HTTPS\_PORTは、SnapCenter ServerのHTTPSポートを指定します。
- DUSER\_INSTALL\_DIRは、Linux用のSnapCenterプラグインパッケージをインストールするディレクトリを指定します。
- DINSTALL\_LOG\_NAMEはログファイルの名前を指定します。

```
/tmp/sc-plugin-installer/snapcenter_linux_host_plugin.bin -i silent  
-DPORT=8145 -DSERVER_IP=scserver.domain.com -DSERVER_HTTPS_PORT=8146  
-DUSER_INSTALL_DIR=/opt  
-DINSTALL_LOG_NAME=SnapCenter_Linux_Host_Plugin_Install_2.log  
-DCHOSEN_FEATURE_LIST=CUSTOM
```

4. /<インストール ディレクトリ>/ NetApp/snapcenter/scc/etc/SC\_SMS\_Services.properties ファイルを編集し、PLUGINS\_ENABLED = hana:3.0 パラメータを追加します。
5. Add-Smhostコマンドレットと必要なパラメータを使用して、SnapCenter Serverにホストを追加します。

コマンドで使用できるパラメータとその説明に関する情報は、*Get-Help command\_name* を実行すると取得できます。あるいは、["SnapCenterソフトウェア コマンドレット リファレンス ガイド"](#)。

## Plug-in for SAP HANAのインストール ステータスの監視

[Jobs]ページを使用して、SnapCenterプラグイン パッケージのインストールの進捗状況を監視できます。インストールの進捗状況をチェックして、インストールが完了するタイミングや問題が発生していないかどうかを確認できます。

### タスク概要

[Jobs]ページでは、次のアイコンで処理の状態が示されます。

- 進行中
- 正常に完了しました
- 失敗した
- 警告付きで完了したか、警告のため開始できませんでした
- キューに登録

### 手順

1. 左側のナビゲーションペインで、[モニター] をクリックします。
2. \*モニター\*ページで、\*ジョブ\*をクリックします。
3. ジョブ ページで、プラグインのインストール操作のみがリストされるようにリストをフィルタリングするには、次の手順を実行します。
  - a. \*フィルター\*をクリックします。
  - b. オプション：開始日と終了日を指定します。
  - c. [タイプ] ドロップダウン メニューから、[プラグインのインストール] を選択します。
  - d. [Status] ドロップダウン メニューから、インストールのステータスを選択します。
  - e. \*適用\*をクリックします。
4. インストール ジョブを選択し、[詳細] をクリックしてジョブの詳細を表示します。

5. \*ジョブの詳細\*ページで、\*ログの表示\*をクリックします。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を隨時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5225.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。